

ほけんだより



梅雨明けまでもう少し。今年は、ムシムシじめじめの日もあれば、梅雨寒の日もあり、お日様が恋しくなるくらいしっかりとした梅雨らしい日々でしたね。そして梅雨が明ければ一気に本格的な夏が始まります。今年も猛暑や酷暑が予想されていますので、熱中症に気をつけていきましょう。

7月7日は、七夕(たなばた)です。七夕伝説のルーツでもある夏の夜空に輝く星、こと座のベガが織姫(織女星)、わし座のアルタイルが彦星(牽牛星)、はくちょう座のデネブが二人をとりもつかササギで、このベガ、アルタイル、デネブという3つの一等星を結ぶと「夏の大三角」(夏の大三角形)になります。そして、この大三角の間に天の川が横たわっています。

ちなみに、織姫ベガと彦星アルタイルの直接の距離は、おおよそ15光年。これは、光のスピードでも15年かかってしまう距離です。織姫が「大好き!」と超強力な電波で叫んでも彦星に届くのは15年後。彦星の「僕もだよ!」という返事が聞けるのは30年後になります。「今すぐ会いに行くから!」と光速で飛ぶ宇宙船に乗っても、会えるのは15年後。行ったり来たり会うたびに30歳ずつ歳をとることに。残念ながら毎年会うのは難しそうです。梅雨の晴れ間の夜に空を眺めて、夏の「大三角」を探してみてくださいね。



感染症情報

ヒトメタニューモウイルス感染症 6名



※ヒトメタニューモウイルスは、RSウイルスと同じように、乳幼児の気管支炎の原因としてよく見られるウイルスです。3~6月頃に流行し、生後6か月~2歳までに50%、5歳までに75%、遅くとも10歳頃までに一度は感染するといわれています。主な症状は38℃を超える発熱(86%)、咳き込み(56%)、鼻汁です。1度感染したら免疫がついて2度と感染しないということではなく、繰り返し何度も感染してしまいます。対症療法が中心で、ワクチン等の有効な予防策ありません。熱が下がり、元気が出て、いつもと同じような食事が摂れるようになれば、登園は可能です。登園の際に、医師の意見書の提出も不要です。

※夏に流行しやすい手足口病やヘルパンギーナが、全国的に流行し始めました。都内でも増加傾向となっています。北区ではまだ流行の兆しはみられていませんが、2年毎に流行すると言われ、昨年大きな流行がなかったため、今後の流行に留意してください。

令和8年7月1日